

# 奥州市のリサイクル

品目	家庭	市	リサイクル工程	再生された後は？	リサイクルのポイント
紙類	新聞紙	紐でしばる	●水槽で繊維状にほぐして異物やインキを除去し、漂白して抄紙する	●新聞紙やコピー用紙など、印刷用のきれいな紙に再生される	●異物があると表面にチリが現れたり、金属反応を起こして商品価値のないものになることがあるため混入させない
	雑誌	紐でしばる	●水槽で繊維状にほぐして異物やインキを除去し抄紙する	●様々な種類の紙が混ざるため、印刷用ではなく、菓子箱に使われる板紙やダンボール原紙の中層などに再生される	●綴じ込みのCDやシール台紙、ビニールで覆われたカバーなどの異物は取り除く
	ダンボール	紐でしばる	●水槽で繊維状にほぐして異物やインキを除去し抄紙する ●中の波板状の紙と表の2枚を貼り合わせてダンボールシートを作り成形する	●新しいダンボールに使われる古紙(ダンボール、雑誌・雑紙など)の割合は90%以上 ●ダンボールは何度でもダンボールに再生可能！	●金属の留め金や粘着テープは取り除く ●ろう引きのダンボールは燃えるごみに出す
	紙パック	水洗いして乾かし切り開く	●ラミネート部分を取り除き、原紙部分を溶かす ●インクの残りなどを取り除いて、パルプに戻す ●抄紙しロール状にする	●紙パックのパルプ繊維は柔らかくて長いため、白くて柔らかい紙に再生できるので、トイレトペーパーなどに再生される。紙パック6枚でトイレトペーパー1個分！	●裏がアルミの紙パックや他の種類の紙を混ぜない マークが違います！ OK  NG
	その他紙	紐でしばるか封筒や紙袋に入れる	ブロック状に押し固めて保管	●水槽で繊維状にほぐして異物やインキを除去し抄紙する	●様々な種類の紙が混ざるため、ダンボール原紙の中層やダンボール箱の中芯の原料など目につかない部分などに再生される

品目	家庭	市	リサイクル工程	再生された後は？	リサイクルのポイント
缶類	スチール缶	中をすすぐ	●1,600°Cの高温で溶かされ異物が燃焼分離される ●板状に延ばされ製缶メーカー等へ	●スチール缶のほか、建築用の鋼材や自動車用鋼板、電化製品など「何にでも」「何度でも」再生できる	●プルタブを外さない ●飲料缶のほか、缶詰や菓子缶などの一般缶もOK 缶は90%以上がリサイクルされています！ 
	アルミ缶	中をすすぐ	●異物や表面の塗料を除去された後、700°C以上の高温で溶かされて鑄造される ●アルミ缶用に薄い板状に延ばされ製缶メーカーへ	●約7割がアルミ缶に ●原料(ボーキサイト)から作る場合に比べて97%のエネルギーを節約	●プルタブを外さない ●ボトルキャップのフタは軽くしめて一緒に排出可能
びん類	無色 茶色 その他の色	キャップをはずして中をすすぐ	●粉碎・洗浄して異物を除去し、カレット(ビンの原料となる小片)を作る ●ソーダ灰などの天然素材とカレットを混ぜ合わせ成形してビンにする	●3/4近くがビンに再生 ●道路に使う砂や家の断熱材などにも再生される	●破裂や割れの原因となる、耐熱ガラスや陶磁器など素材の違うものは混入させない ●口の部分が透明なら、すりガラスでも無色びんへ
	PET ボトル	キャップとラベルをはずして中をすすぐ	●異物を除去して洗浄して粉碎し、フレーク(8mm角位の細かい小片にしたもの)や、ペレット(フレークを加工して粒状にしたもの)に加工される	●PETボトルの原料や、衣服などの繊維、卵パックや商品の包装用のフィルム・シートなどに再生される ●PET素材だけで作られるのでリサイクルがしやすい	●ラベルとキャップは素材が違うので分けて出す ●調味料のPETボトルもOK これが目印→ 
プラスチック類	白色 トレー	水洗いする	●選別・異物除去をして洗浄し、粉碎・溶解してペレット(粒状にしたもの)にする ●ペレットを混ぜて再生シートにし、表面を新しい原料で作ったバージンフィルムで覆いトレーに成形する	●食品トレーに再生されるほか、電化製品のプラスチック部分などにも再生される ●再生原料でトレーを作るとCO <sub>2</sub> を約30%削減	●インスタント麺の容器や納豆の容器は「その他プラスチック」へ 
	その他 プラスチック	水洗いする汚れを落とす	●選別・破碎洗浄後、異物を除去して溶かし、ペレット(粒状にしたもの)に加工される	●運搬用のパレットや、車止めやU字溝などの土木建築用資材に再生される	●プラマークが目印 ●小袋に入れずに出す ●プラスチック製品(食器やハンガーなど)は燃えるごみへ 